

2020年5月19日

株式会社山陰合同銀行

『令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』選定について ～平成30年度に続き2年連続での表彰～

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）では、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局が選定・表彰する『令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』（以下「本表彰」）において、当行の「J-クレジットを活用したSDGsへの貢献～林業への資金循環創出支援～」の取り組みが選定されましたのでお知らせします。

本表彰は、全国の金融機関等から報告された地方創生に資する取り組みを評価し、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例などを表彰する制度で、国および各地方公共団体において総合戦略が策定され地方創生の取り組みがスタートした2015年度より毎年実施されているものです。

この度の選定・表彰を受けた取り組みは、地球温暖化の原因の一つとも言われている温室効果ガスの排出削減量や森林資源による吸収増加量に環境価値を持たせたJ-クレジットを活用し、地域の環境保全に対する理解促進と、資金循環を通じた森林整備や温室効果ガス削減の取り組みを地方公共団体等とともに推進しているものです。当行はJ-クレジット地域コーディネーターとして、多くの県内外の取引先企業の皆様のご理解とご協力のもと、約10年にわたってJ-クレジットの普及（仲介支援、カーボン・オフセット提案等）と企業価値向上の取組支援に努めてまいりました。（仲介支援実績：79件、3,840t-CO₂（2020年3月末時点））

J-クレジットに関する取り組みは、2006年より当行で活動を始めた「ごうぎん希望の森」での森林保全活動の経験や、「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」での自然環境整備に取り組まれている関係団体の皆様との対話の中から発想を得て取り組みを開始したものです。

当行は、さまざまな地域課題の解決へ向けて地域の皆様と共に挑戦し続け、地方創生の実現とSDGs達成へ向けた取り組みを通じた地域経済発展へ引き続き尽力してまいります。

以上

<参考1>

過去の当行選定事例

平成27年度 『芸術的才能を活かした障がい者の自立支援に向けた官民連携の取り組み
～ゆめいくワークサポート事業』

平成30年度 『樹地域経済活性化支援機構と連携した大学発ベンチャーファンドを活用し、
山陰地域における大学シーズの事業化を推進』

(URL : <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/kinyu/jirei.html>)



<参考 2>

①取り組みの全体像



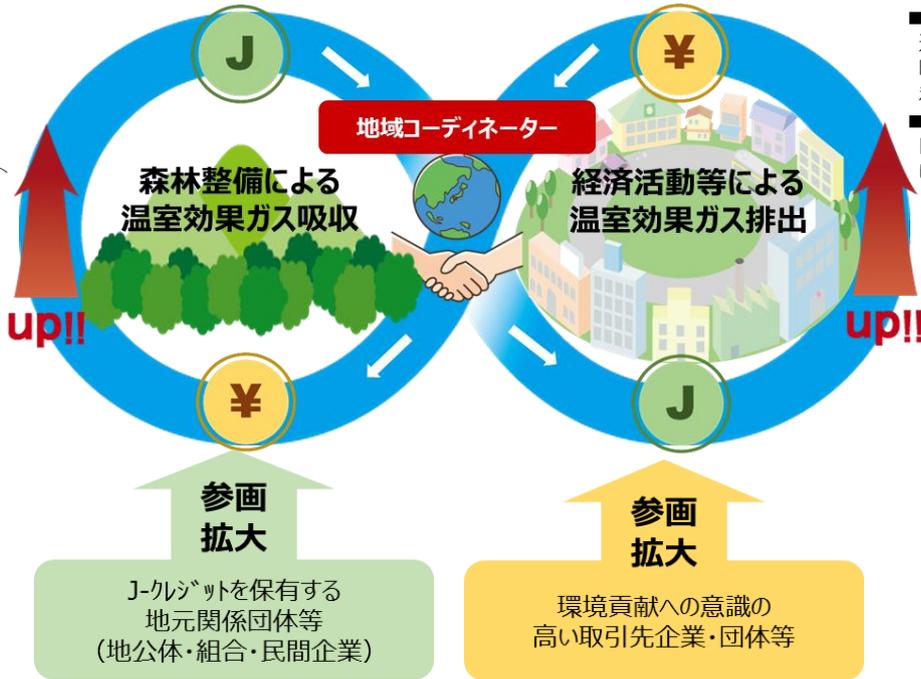
J-クレジットの流れ



資金の流れ

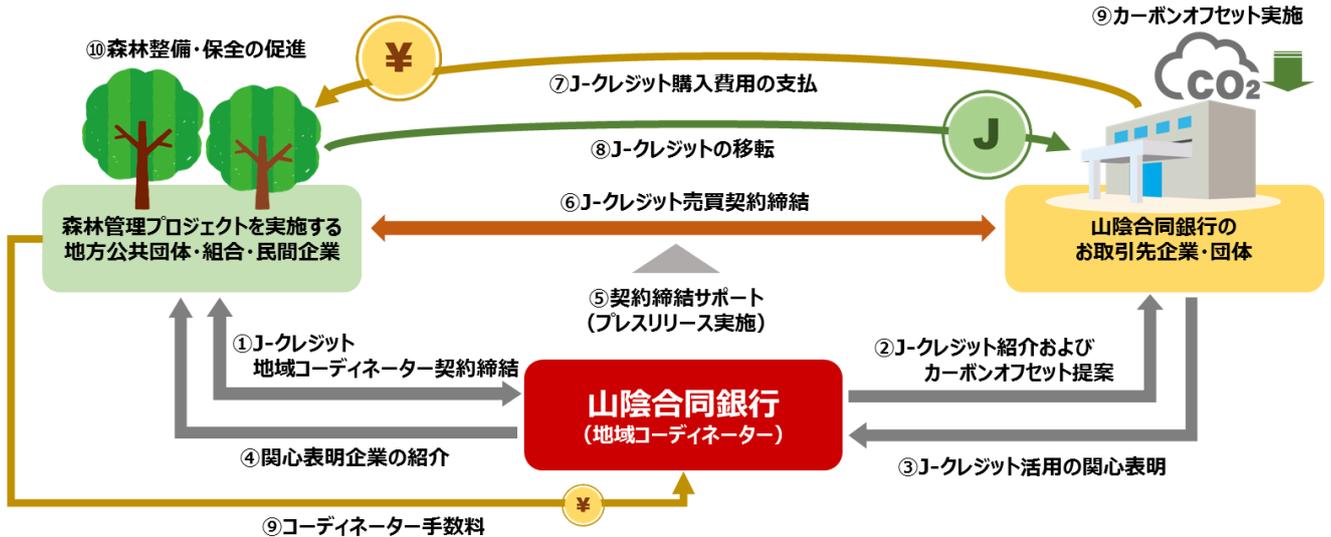
J-クレジットに基づく資金循環とカーボンオフセットによる
森林資源の価値と企業価値の向上を同時に実現

- 林業（森林管理）への資金循環により森林のCO2吸収量が増大（気候変動対策へ）
- 森林保全へ関心の高い企業等とのネットワークが強化



- カーボン・オフセットを通じた経営・営業戦略等の差別化として利用促進
- SDGsへの貢献、ESG経営の実践を通じた企業価値の向上

②事業スキーム



(注) 図表は『令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』より一部抜粋して掲載しております。取組事例資料の作成後、2020年2月からは温室効果ガスの排出削減プロジェクトに基づくJ-クレジットの仲介支援も実施しています。